

# 天王森通信

2021年1・2・3月号 No.109 発行 天王森泉公園運営委員会

## コロナに負けるな！！

### 11/15 天王森まつりを開催

公園の23周年の創立記念日に例年より縮小して開催しました。来園者には、コロナ感染対策として、検温、手指消毒



連絡先の記入をお願いし、焼き芋を先着200名にプレゼントしました。また、黄色いハンカチにコロナにまけるなどのメッセージを書いていただき、館前庭に飾りました。疫病退散にご利益のあると言われているアマビエの展示をしました。

## 自然観察

成虫で越冬するキタキチョウ、タテハチョウの仲間、ウラギンシジミやムラサキシジミなどのシジミチョウは天気の良い日中は気温も上がり活動しますので観察できる可能性もありますが、冬は野鳥ですね。

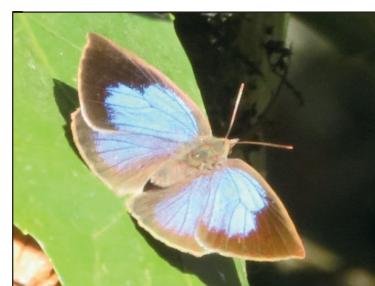
一年中観られるシジュウカラやメジロなどに加え山や北国そして遙か遠いシベリアなどから移動して来たオカヨシガモ、マガモなどのカモ類は境川遊水地公園で観られます。

公園前の田んぼではモズ、ツグミやタヒバリが、館裏のせせらぎや野の花苑ではシロハラ、ジョウビタキやキセキレイが観られるでしょう。野鳥は食事場所や寝る場所への移動そして天敵から逃れるときも飛んで移動します。そのため羽の手入れがすごく大事です。せせらぎの湧水やわさび田は水深も浅く流れも緩やかなので水浴びにはとても良い場所です。野鳥は警戒心が強いので静かに待っていれば水浴びシーンが観られるかもしれません。

3月になると冬の間観られなかった冬鳥が移動中に立ち寄ってくれるかもしれません。

3月下旬になると夏鳥のツバメ、イワツバメ、コチドリなどが渡ってきます。

By:アドバイザー 倉川



【ムラサキシジミ】



【メジロ】

## 今年も宜しく！コロナに負けない！ 健康効果求めて！ 天王森へGO!



### ■竹林の道：癒しの小道です。

巷ではパワースポットとして親しまれています。竹林は、湧水のせせらぎ・ワサビ田と隣り合わせマイナスイオン体験エリアです。

### ■きのこ苑：竹林散策の途中“きのこパワー”に巡り合えるかも！

きのこには免疫力増強成分が…

### ■そば打ち同好会：昨年はコロナ禍を背負、安全防具で身を包み、数回の体験でした。今年は蕎麦食べて体力増強体験希望者お待ちしています

今年もどうぞ宜しく天王森でお会いしましょう

By:大西

## 《年の始めに》

昨年は、新型コロナウィルス感染拡大対策の為、当公園の数多くのイベントが、中止及び縮小、延期となりました。特に「第13回 吊るし雛アート」開催中に中止、4大行事の「竹の子まつり」中止、「ほたる鑑賞会」中止、「天王森まつり」縮小、「天王森餅つき」延期、になり、多くのお客様ががっかりされ、ボランティアも残念な気持ちです。本年も、右欄の行事カレンダーの様に中止が続いております。誠に申し訳ない気持ちで一杯です。

一方、昨年は、横浜市の南部公園緑地事務所と公園運営委員会とで「天王森泉公園保全検討会」を数回開催しました。その中で「天王森泉公園」の施設の特性と管理の基本的な考え方を確認しながら、「天王森泉公園保全管理計画」を作成しました。公園のキャッチフレーズも新しくなり、「里山と泉、そして歴史にふれる」を、「歴史と自然を受け継ぎ、みんなに愛される憩いの天王森」としました。計画全体の目標を、分かりやすいイラストにしましたので次ページをご覧ください。

今年も、皆様の来園をボランティア、スタッフ一同お待ちしています。

運営委員会会長代行 角本 等



## 新発見！ 「博打の木」(バクチノキ) 別名：ビランジュ

ワサビ田の手前のせせらぎの脇に、2m ぐらいの高さの木が見つかりました。今まで、近くにある万両か千両に似ているため見過ごしていたのですが、この高さになると見たことがない木とわかりました。調べると博打の木 (バクチノキ) バラ科サクラ属 日本に2種類しかない常緑のサクラとわかりました。葉の茎に2個の蜜腺 (桜の仲間にについている) が決め手となりました。名前の由来は、樹皮がうろこ状にはがれる様子が、博打で負け身ぐるみ剥がされる様子に例えられたそうです。この近所ではバクチノキは生育しておらず、どうしてここに生えてきたのか不思議です。果実の大きさが1.5cm 大なので、ヒヨドリかカラスがフンを落として、その中のタネが芽を出したのだろうと考えました。

森の木々はこのように野鳥のフンから発芽しているものがたくさんあります。運ぶのは野鳥だけでなく、人間もです。作業道具が入っている小屋の脇からビワの木の芽が出ています。2年前ボランティアが休憩時間に食べた森のビワのタネの可能性があります。

野の花会 by:風露草

3月までの行事カレンダー  
詳細はホームページを参照ください。

### 中止「百人一首かるた遊び」

1月 24日(日)  
古民家での百人一首かるた会

### 中止「節分豆まき」

2月 3日(水)  
良い春(年)を迎える行事

### 中止「第14回吊るし雛アート」

2月 7日(日)~3月 7日(日)  
古民家と吊るし雛の競演。「泉区吊るし雛アート」手作りの作品展示会。

### 「冬の野鳥観察会」

2月 11日(祝日・木)公園周辺の野鳥観察。参加予約制

### 「しいたけ ほど木の販売」

2月 28日(日) 菌駒打ち済みのほど木販売(30本)。事前予約制

### 中止「しいたけの菌駒打ち体験」

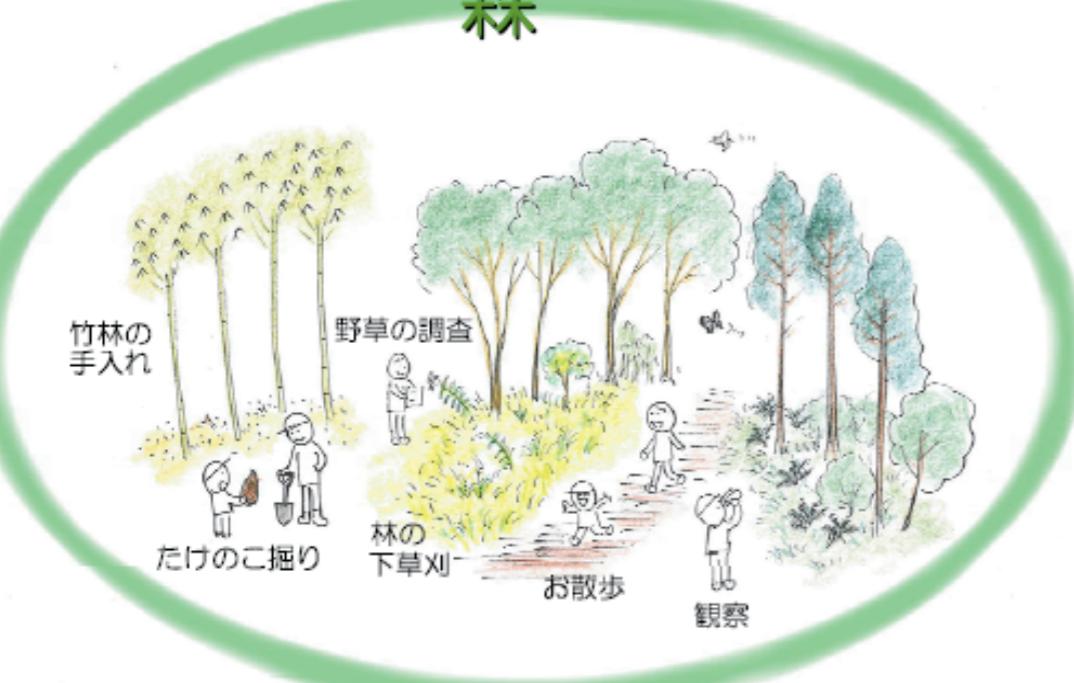
天王森泉公園のホームページ  
<https://www.tennoumori.net>



# 「天王森泉公園」保全管理計画 全体の目標

## 歴史と自然を受け継ぎ、みんなに愛される憩いの天王森

森



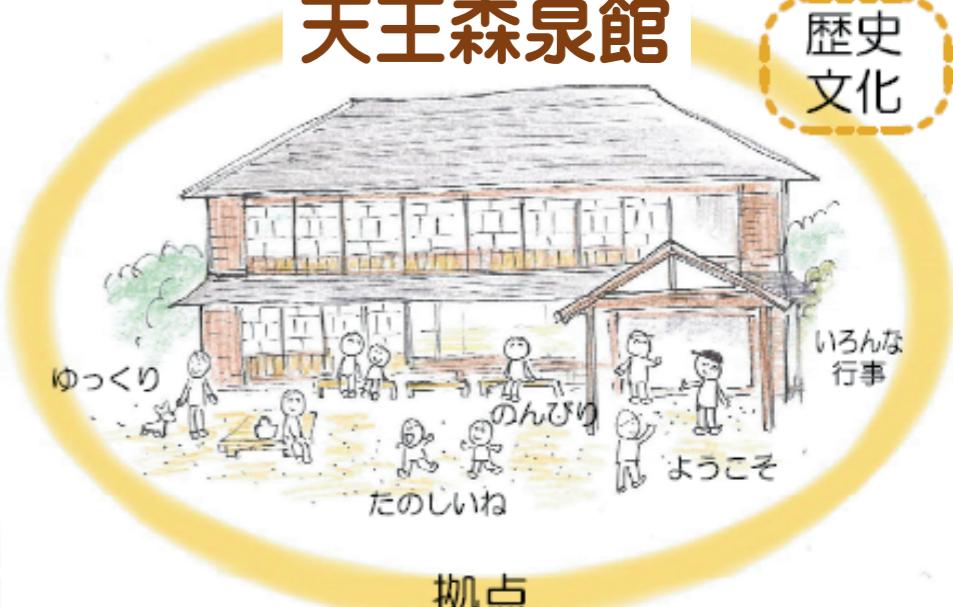
湧水が育んだ製糸産業の歴史、ゲンジボタルが生息する谷戸、  
様々な野草が花をつけ、生き物が生活する憩いの里山林。  
これらの歴史文化と自然環境の合流する池、  
そこに誕生したのが天王森泉公園です。

泉



天王森泉館

歴史  
文化



拠点

開園準備機関から現在に至る23年を超える間、  
天王森泉公園につどう公園ボランティアによって、  
みどりは守られ、季節に合わせた催しが行われています。

里山の自然・生物多様性

維持するには、人の手入れが  
不可欠です

多くの人が訪れ、楽しんでもらいたい



地域の人たちの  
憩いの場に...



管理運営委員会

未来へつなぐ

維持可能性

天王森泉公園（てんのうもりいすみ公園）で、不思議な名前、  
天に虫の字を重ねてごらん、蚕のことさ  
森は里山林が広がっていることさ  
泉はホタルやワサビがあるってことさ  
最後に、王の字にかぶせてごらん、これらが全て揃っていることなさ  
訪れた人は皆が言うよ、また来ようね。そして今度は見てみようかな...  
天王森泉館と蚕の歴史について、  
野草園や竹林散策もいいかな、  
公園活動をしているボランティアの人達といろいろ話をしてみたいな

これからも歴史文化と自然を受け継ぎ、  
ここを訪れる市民に愛される心休まる公園であり続けます。